

秩父別町立秩父別中学校 学校教育活動紹介

校長 内藤 竜治

○学校紹介

秩父別中学校は、今年で開校 77 年目を迎えた歴史と伝統のある中学校です。校舎の周りには、豊かな田園風景が広がり、自然に恵まれた環境のもと、生徒たちは学習に部活動に一生懸命取り組んでいます。今年度は全校生徒が 37 名となり、ここ数年で最も生徒数が少ない状況ではありますが、先輩後輩の仲も良く、行事では力を合わせて頑張っています。また、本校の校訓である「至誠力行」は、どんな時も真心を持って人に接し、自ら為すべきことに力を尽くすという意味があります。このスピリットは卒業した先輩たちから今の生徒たちにもしっかりと引き継がれています。

今年開村 130 年目を迎えた秩父別町ですが、令和 8 年度には義務教育学校「秩父別学園」の開校を控えています。設立に向けて、開校準備委員会や町教育研究会を中心に、教育委員会・教職員・保護者・地域が連携し、知恵を出し合い、「すべては子どもたちのために」を合言葉に連日協議を重ねています。この町に生まれたことを誇りに大きく飛躍してほしいという願いのもと、保護者・地域が一体となって子どもを育てている学校です。



○行事や特色ある活動の様子

町の基幹産業は米作が中心で、道内屈指の良質米産地として有名です。現在は、ブロッコリー・キュウリ・カボチャの生産も盛んになっています。校下の保護者は、堅実な生活、教育に対する関心も強く、学校教育に非常に協力的です。

令和 8 年度には義務教育学校が開校されることもあり小中の交流・連携が欠かせない状況です。本年度は「1 日防災学校」「児童会生徒会合同行事」等を実施し、130 名の児童生徒が一堂に会しました。

秩父別町ならではのイベント「ご当地給食」。町商工会や町内飲食店の計らいで「緑のナポリタン」が給食として振舞われました。

○1 日防災学校：AED の使用など、5 つのブースに分かれて体験



○児童会生徒会合同行事：小中縦割り班でウォークラリーをしました



○ご当地給食「緑のナポリタン」

